

目黒区様と一緒に取り組んでいます！



1 スキルを見える化して客観視できる 教員向けスキルチェック



定期的に教員向けスキルチェックを実施し、先生方ご自身の振り返りとして役立てていただくとともに、先生方のスキルに応じたアドバイスを行っています。

2 スキルに合わせて選べる研修を！ スキル別の夏季研修



事前に行った教員向けスキルチェックの結果を基に、初級・中級・上級を選択して受講できる研修を実施しました。弊社は初級・中級の研修講師を担当しました。

3 学校全体・地域全体での環境づくり 学校情報化認定取得に向けた取り組み



令和3年度より、区内小・中学校で「学校情報化認定」の取得を推進しています。学校を巡回し、学校情報化チェックリストの内容を先生方と一緒に確認する等、認定取得のための支援を実施しています。

学校情報化認定とは

日本教育工学協会（JAET）が教育の情報化の推進を支援するために、総合的に情報化を進めた学校を認定する制度。「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校を称え、学校情報化優良校として認定する。また、学校情報化優良校が一定以上の割合になった地域を学校情報化先進地域として認定している。

新しい学びをデザインするICT活用

Utilization of information and communication technology for the future of children.

東京都
目黒区教育委員会様

Case 3



目黒区教育委員会

「いつでも」「どこでも」「だれとでも」
つながる ICT 活用



目黒区の「GIGA スクール構想元年」

目黒区教育委員会では令和3年度を「GIGA スクール構想元年」として教育活動における学習用情報端末の活用を進めています。日常的な活用による「いつでも」LTE 回線を活かした場所を選ばない「どこでも」、クラスメイトや外部とつながる「だれとでも」をコンセプトに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行い、「個別最適な学びの実現」「協働的な学びの実現」を目指しています。





Interview

「いつでも」「どこでも」「だれとでも」 つながる ICT 活用

関根 義孝 教育長 目黒区総務部長を経て令和元年10月より現職。「いつでも」「どこでも」「だれとでも」をコンセプトに目黒区のGIGAスクール構想を推進。

目黒区では令和2年度に、LTE回線を採用した一人一台の学習用情報端末の整備を完了し、令和3年度を「GIGAスクール構想元年」と位置付け、学習用情報端末を活用した教育活動を進めています。目黒区の環境整備と現在の活用について、関根教育長にお話しをお伺いしました。

一人一台の学習用情報端末を整備する以前は、どのような課題がありましたか。

一人一台の学習用情報端末を整える前は、各学校のコンピュータ教室に、教育用パソコンを約40台設置していましたが、児童・生徒が使用できる時間が限られていました。そのため、日常的なICT機器の活用のみならず、災害や感染症等の発生などの緊急時においても活用することが可能な環境の整備と、教員のICT活用能力の向上を図ることが課題でした。

令和3年度は「GIGAスクール構想元年」として、各学校で様々な工夫がされていますね。

各学校では、カメラ機能を使用して記録をしたり、各自が考えたことを文書作成、表計算などの各種アプリケーションを用いて表現したり、友達との間で協働的に問題解決を図ったりするなど、日常的に学習用情報端末を活用しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、やむを得ず登校できない児童・生徒に対しては、学習用情報端末を活用し、学習課題等の配信や、オンラインによる面談を行うほか、授業の様子を家庭に配信する「オンライン授業配信」の取組を行っています。このように、児童・生徒は学習用情報端末を「いつでも」「どこでも」「だれとでも」自分に合った方法で活用し、学習を進めることができるようになりました。



自宅にいる児童・生徒とMeetで接続

各学校のICT活用を支援する「GIGA支援員」の配置により、どのような効果を感じられていますか。

GIGA支援員の各学校への配置は、ICT機器の保守管理や、教員のICTを活用した授業の支援の面において、必要不可欠であると認識しています。

GIGA支援員は、週2回、定期的に各学校を訪問し、端末操作や授業展開等の技術的な側面から支援を行うことで、各学校の学習用情報端末の安定的な運用に寄与しています。特に、GIGAスクール構想初年度は、ICTの活用について学校間や教員間で差が生じやすいため、GIGA支援員の専門的な助言は、目黒区立学校教員全体のICT活用能力の向上につながっています。



東京23区の南西部に位置し、緑豊かで歴史・文化の香るまち。令和3年2月より、区立小・中学校の児童・生徒に学習用情報端末「iPad」を整備。LTE回線を採用し「いつでも」「どこでも」「だれとでも」をコンセプトに主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行い「個別最適な学びの実現」「協働的な学びの実現」を目指す。

教員のICT活用力向上にも組織的に取り組まれている印象です。具体的な取り組みを教えてください。

本年度から、教員のICT活用能力のレベルに応じた研修を設け、教員が「教員向けスキルチェック」の結果を参考に、自身のスキルに合った講座を受講できるようにしています。夏季研修では、アプリの特徴や使い方、授業での活用場面等の具体的な紹介があり、受講者からは、「すぐに授業に活用したい」、「改めてアプリの活用方法を認識することができた」、「授業以外の行事や委員会活動等でも活用したい」などの感想が寄せられました。

また、令和4年度内に、全区立小・中学校の学校情報化認定「学校情報化優良校」の取得を目指しています。富士電機ITソリューションによる認定取得に向けた支援サービスと速やかな対応は、各学校において自校の現状を振り返り、課題を改善するよい機会となっています。

「GIGAスクール構想元年」を振り返って・・・

児童・生徒が、学習用情報端末を、鉛筆やノートと同じように“文具”として使い、学習に取り組む姿が随所に見られるようになりました。また、教員は、試行錯誤しながら、学習用情報端末を活用した授業改善に努め、実践を積み重ねています。各学校からは、校内外の研修等で、効果的な活用方法の情報を積極的に共有し、ICT活用能力の向上を図っています。

今後のビジョンをお聞かせください。

各学校において、一人一台の学習用情報端末を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行うことで、基礎的・基本的な知識・技能や言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の確実な育成を目指しています。また、学校・教育委員会と家庭・地域が、教育の情報化にかかる区の現状及びこれからの5年間の取組の方向性等を共有し、一体となって教育の情報化に取り組んでいけるよう、令和3年度に、「MEGUROスマートスクール・アクションプラン」を策定したところです。

今後も、目黒区教育委員会が目指す「21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐろの子ども」の育成に向け、各学校におけるICTを活用した、創意工夫ある教育活動を推進してまいります。

LTE回線の強みを活かし 学校や自宅でシームレスな活用を実践。

目黒区の小・中学校では、場所にとらわれないシームレスな活用を実践しています。令和3年度の区立小・中学校の活用の様子をご紹介します！

授業の中で、日常的なICT活用

小学校6年生 社会科「豪族たちはなぜ古墳をつくったのかを考えよう」

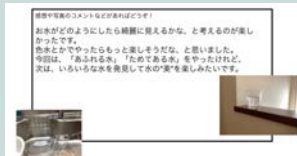
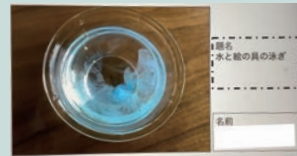
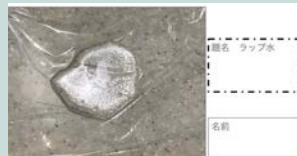
Jamboardのワークシートに自分の予想、教科書や資料集から調べた内容をまとめて、グループや全体で共有しました。



学年閉鎖の中でもオンラインで実現

小学校4年生 図画工作科「水の美を探そう」 ※4クラス合同のオンライン授業

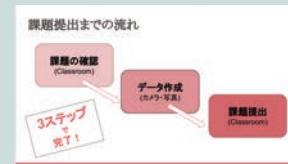
家の中にある水の美を探し、写真を撮影してスライドにまとめました。各クラスの提出フォルダを共有することで、学年の友達の作品も鑑賞できるようにしました。



スピーキング課題もclassroomで提出

中学校 外国語科(英語) スピーキングの課題を動画撮影して提出

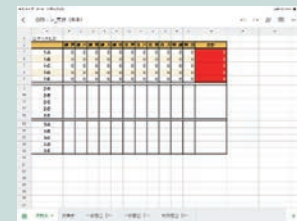
英語によるスピーチを、動画で撮影してClassroomで提出することで、教室で行う時よりも、生徒の口の動きが見やすくなりました。学年閉鎖中の課題でしたが、生徒向けの手順書を事前に共有することで、生徒それぞれが、自分のタイミングで取り組むことができました。



音楽会の点数集計を自動化

中学校 音楽会での活用

時間があまり取れない中で点数集計を効率化するため、Formsとスプレッドシートを連携した自動集計表を活用。当日は、QRコードも活用し必要な採点フォームにアクセスできるようにしました。



※この紙面の事例は、令和3年度の目黒区立小・中学校の活用状況をまとめたものです。

Pick UP

目黒区立小・中学校
×
GIGA支援員

定期的なミニ研修で 先生方の活用力UP!

1ヶ月に1回程度、放課後にGIGA支援員が、先生向けのミニ研修を実施しています。ご要望をお聞きしたり、先生方のニーズに合わせて研修内容をご提案しています。



- 実施した研修内容(例)
- Classroomの基本操作(課題作成・提出)
 - Meetの基本操作
 - iPadの便利機能(画面2分割表示、画面収録)
 - iMovieで動画編集
 - 動画データドライブ移動について

支援員作成手順書は ドライブ共有

先生方の質問を元に、手順書を作成しています。困った時にいつでも確認できるように、情報教育担当の先生を通して、ドライブで共有しています。



多くの先生が困っていることにアンテナを張って、必要な資料を作成してもらっているのが助かっています。



中学校 情報教育担当の先生